



【問い合わせ先】

敦賀海上保安部

地域海難防止対策官 石丸 直門

TEL 0770-22-4179

敦賀海上保安部

令和2年8月7日

午前9時00分発表

海の事故に気を付けて！！

～8月の三連休からお盆はマリレジャーのピーク～

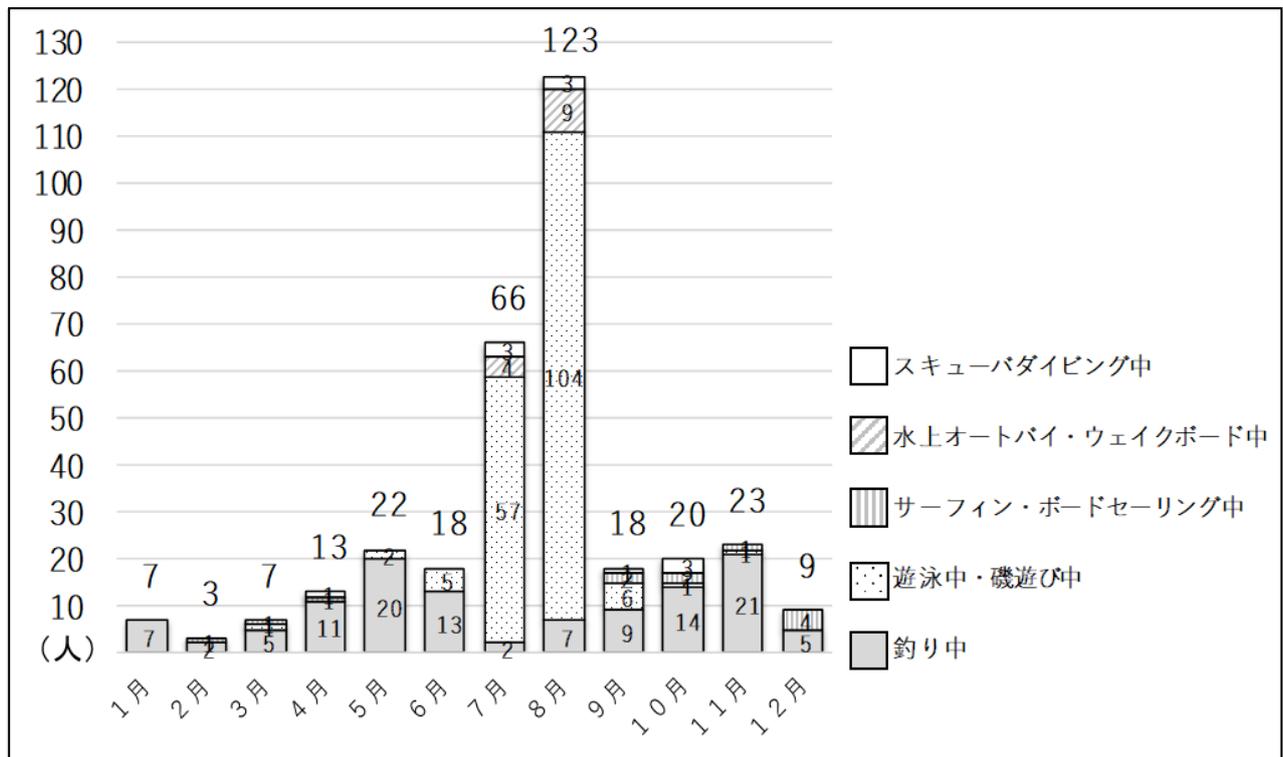
福井県内では、例年、8月のお盆ころまでの期間が海のレジャー最盛期となっており、新型コロナウイルスの影響により短縮した夏休み期間からも、8月8～10日の三連休からお盆までの期間にピークを迎えると予想しています。

マリレジャーに際しては、特に次の事項に注意してください。

○同行者相互の動静連絡 ○天候の急変の備え ○子供の常時監視

○飲酒後の遊泳禁止 ○不開設浴場での遊泳自粛

福井県内月別マリレジャー海難発生状況(H22～R1)



上の表は、過去10年間の福井県内におけるマリレジャーによる事故者数を月別で表したものです。ご覧いただけるとおり、8月の発生が特に多い状況となっており、その中でも海水浴中の事故者が8月の約85パーセントを占めています。

8月に入りようやく梅雨が明け、また、今年は新型コロナウイルスの影響により開設しない海水浴場が県内の約8割となっており、さらには、小中高校の夏休みが短縮されている事情などからも、例年とは違う海水浴客の動向が予想されることから、沿岸のパトロールなど警戒を強めています。

5日には、海水浴に訪れた母娘のうち娘(24歳女性)が一時所在不明となる事案が発生し、警察・消防・海保の三機関の勢力を費やして捜索に当たることとなりました。結果として、まったく事故などに起因するものではなく、母親が娘の所在を見失っていただけのものでしたが、このような事案は、他の溺水などの水難事故の対応に遅れなどの影響を与えます。

警察・消防・海保も勢力が限られているので、ご注意ください。

～ 過去の事件事例と防止啓発 ～

- 今年8月5日、立石漁港付近の海岸に訪れた母娘のうち、娘(24歳女性)が付近で遊泳していましたが、母親が20分経っても戻ってこない娘が心配となり、警察に行方不明である旨通報し、警察・消防・海保により船舶、ヘリコプター、潜水士、陸上捜索部隊などの勢力を費やして捜索にあたりました。

しかし娘は、一切事故などには遭遇しておらず、付近の海岸に上陸するところを発見されました。

◎同行者はお互いに動静の連絡を！

海水浴や釣りなどのマリンレジャーの際には、必ず同行者と自分の所在・動静について、「どこまで行く」「〇時に戻る」など、連絡・共有し、できるだけ単独行動は控えてください。

この事案のように、救助機関の勢力が奪われ、発動の遅れなどから助かる命を救えなくなる可能性がありますので、ご注意ください。

- 昨年8月、美浜町水晶浜海水浴場において、荒天のため遊泳禁止となり、スピーカー等により遊泳禁止の周知がなされているにもかかわらず、約100名もの遊泳者が呼び掛けに従わずに遊泳・磯遊びを続けた結果、さらに波が高くなり24人(大人16人・子供8人)が海水浴場沖の岩場に取り残され帰れなくなるという事故が発生しました。



◎天候の急変にご注意を！

「その日しか家族・友人との休みが合わない」などの理由で多少天気が悪くても海水浴を強行した結果、事故につながるというケースが見られます。海水浴の中止を決断する勇気を持ってください。

- 昨年8月、家族等計12名のグループが敦賀市気比の松原海水浴場を訪れ、子どもたちのみで遊泳させていたところ、そのうちの5歳男児1人が、砂浜から5メートル沖の水深1メートルの海中に沈んでいたところを付近の海水浴客が発見・引き揚げ、その場に居合わせた医師や看護師を含む周囲の協力者とともに心肺蘇生を実施し、意識を取り戻しました。

◎子供から絶対に目を離さないで！

人は水深が30センチメートルあれば溺れる可能性があるといいます。つまり子供にとっては、どんな浅場でも危険であるということ。休憩中であっても絶対に子供のそばにいてあげてください。子供を守ってあげられるのは一緒にいる大人だけです。

- 昨年7月、越前海岸において男性9名はバーベキューにて飲酒後、遊泳を開始しましたが、しばらくしたところ、このうちの1人が波打ち際で動かない状態であることを発見し、すぐに浜に引き上げるも心肺停止状態であり、搬送先の病院で死亡が確認されました。

◎お酒を飲んだら絶対に海に入らないで！

飲酒時は、運動能力や状況判断力が鈍ります。「自分はお酒に強いから大丈夫」などという過信は、命を落とす原因となります。

飲酒と海水浴は両立しません。飲んだら泳ぐな、泳ぐなら飲むな！

- このほか、今年は、開設しない海水浴場での遊泳の自粛をお願いしております。開設しない海水浴場は、監視体制や救助体制が不十分であり、また、遊泳区域の仕切りがないため水上オートバイなどとの接触の危険性があります。